



いつもお世話になっております。  
 今号は家庭用のエネルギーマネジメントシステムである「HEMS」についてご紹介します！北海道ガスではこの省エネ実証を通し、北ガス版HEMSの開発を進めています。

## テーマ⑤ HEMSとは？

HEMSは、「**Home Energy Management System**（ホームエネルギーマネジメントシステム）」の略で、政府は2030年までにすべての住まいにHEMSを導入することを目的に、補助金などの施策を行っています。一般的なHEMSは、主に宅内の電気エネルギーについて、エアコンなどの「エネルギー消費機器」と太陽光発電などの「創エネ機器」、蓄電池などの「蓄エネ機器」をネットワーク化し、数値としてパソコンや携帯電話で「見える化」しています。さらに、それぞれの家電を一元管理して制御することで、居住者の快適性を保ちながら、省エネルギーや光熱費の削減を測ることが目的です。メーカーによって値段や機能はさまざまですが、宅外から遠隔で家電を操作できるものもあります。

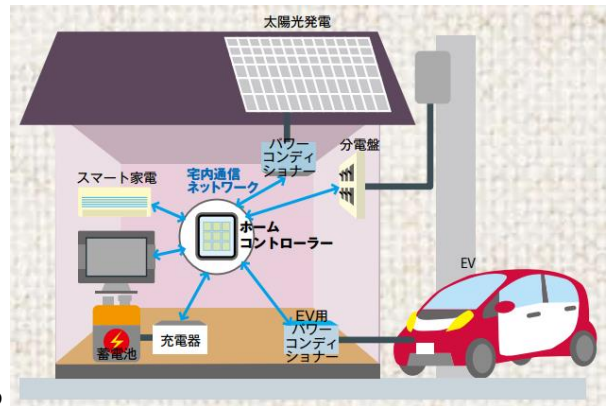
### HEMSのメリット

電気の使用状況がわかる ことで…

↓ 例えば

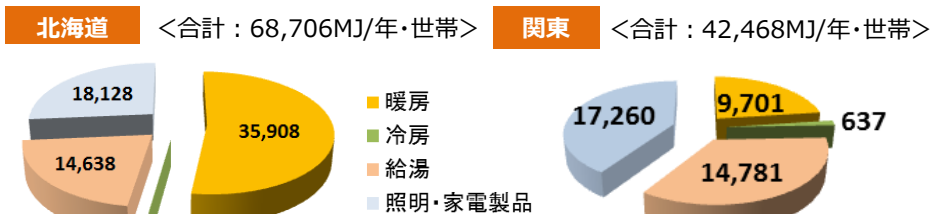
- ① 子供部屋のエアコンがつけっぱなし、寝室の電気の消し忘れ等、**無駄にすぐ気づくことができる**ようになり、節電対策がスムーズに行えます。
- ② 電力自由化により、電気料金メニューが多様化が予想されます。

**自宅の電気の使い方（日中に多い、夜間に多い等）を知る**ことで、適した料金メニューを選択する際の参考になり、光熱費の削減が見込めます。



出典：家庭の省エネ百科  
 財団法人省エネルギーセンター、経済産業省資源エネルギー庁

しかし、積雪寒冷地である北海道では、24時間連続して暖房を使用することも珍しくなく、年間で使用するエネルギーのうち、暖房に使用するエネルギーが半分強を占めるというデータがあります。また、北海道では、暖房を灯油やガスで行っている住宅が大半です。つまり、**電気の管理では見えない部分でのエネルギー使用量が多い**ということです。



出典：2014家庭用エネルギーハンドブック  
 (株) 住環境計画研究所編

そこで北海道ガスでは暖房、つまり**熱エネルギー**に着目した、寒冷地向けのHEMSを新しく開発しています。次号ではその新しい試みについてご紹介いたします。

次回は・・・「**北ガス版HEMSの特徴**」についてお届けする予定です！